

地域協働学校だより

令和8年8月25日

第4回

新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校運営協議会から参加いたしました出前授業について紹介いたします。

〇4年生 高齢者体験授業

7月15日（水）4年生は福祉の授業で高齢者体験がありました。

社会福祉法人新宿区社会福祉協議会職員の方々と筆筈町高齢者総合相談センター管理者の春日井恵さんにおいでいただきました。地域協働学校のメンバーとサポーターで各体験の補助をいたしました。

今回は会議室と体育館を使用しています。会議室では講義とゴーグル着用（視野狭窄・白内障）体験、体育館で主に身体的な不自由さを体験、というようにしっかりと学びました。

高齢者の特徴を知る

会議室ではまず、高齢者の特徴について講義がありました。

若い時との身長差、白髪、しわ、膝や腰が痛くなったりする身体的な違い。豊富な知識や体験がある中で、新しいことが覚えられない、ご飯を食べたことや昨日会った友人や家族のこと、年齢などがわからなくなったりする脳の働きの老化。また、身体は動かなくても頭はしっかりしていることやその逆もあり、衰え方はさまざまであること。若い人と同じところは、生きている同じ人間であること。好きなもの・嫌いなもの、寂しい・楽しいなど感情があり一人一人違う、ということを知りました。

高齢者疑似体験：会議室ではゴーグル着用（視野狭窄・白内障）して視界の不自由さを体験しました。歩いたりシール貼りをしました。歩くのも不安で補助の児童が介添えします。体育館では、身体の不自由さを総重量4Kgの重りをベスト・腕・足に付け体感し、「段差を歩く」「寝転ぶ起き上がる」「杖を使用してミニハードルをまたぐ」など体験しました。



体験して：社会福祉協議会職員の方から福祉とは、「ふだんのくらしを幸せにする」というお話があり子どもたちは興味深く聴いていました。一通り体験後振り返りでは、身体が重くて動きが制限されてしまい、何をするにも動きにくい思い通りに動けず時間がかかった。街で高齢者の方に気付けるようにしたいと思う。自分から声をかけて助けてあげたい。など活発な意見がでました。真剣な姿にとてもよい体験ができているように感じました。

〇6年生 模擬選挙「未来の新宿をよりよくしよう！総選挙2026」

7月16日（木）3・4限目に6年生を対象に『出前模擬選挙』が行われました。新宿区選挙管理委員会事務局と明るい選挙推進員の方々・大学生のお手伝いで、



実際の選挙に使用する設備・備品などを持ち込み本番さながらの体験をしました。保護者の方の参加もありました。

選挙とは はじめに、選挙管理委員会事務局の方からの講義です。予算や法律のかじ取りをする政治家を選ぶ選挙の大切さ、制限選挙から今の18歳以上のすべての人が選挙権を持てるようになった選挙の歴史、1票差で当落が分かれた選挙の事例から1票の大切さのお話をされました。20～30歳の投票率の低いことから特定の人だけに偏ったルールが知らない間にできてしまう怖さも話されました。また、選挙で政治家を選ぶだけでなく、その活動もみることも重要ということでした。クイズもはさみながら進められました。児童の皆さんは積極的に手を挙げて答えていました。

また、これからのみんなにできることに①自分のまちについて調べてみる。②自分の今の生活について考えてみる。③自分の将来のこと社会のことをかんがえてみる。を挙げて教えていただきました。

模擬選挙！

今回は児童6政党「テキ党」「関東安全保障党」「ポテ党」「熱党」「安保組」「明けましておめで党」とたくさんの政党が立ち上がりました。いよいよ立ち合い演説が行われました。どの候補者もタブレットからスライド操作もスムーズで、新宿がよりよいまちになるように課題を探し出し客観的データを用いて考察し演説する姿には保護者の皆さんも聞き入っていました、応援演説も充実していて皆が発言できるようになっていました。

そして、児童の中から投票立会人と開票立会人2人ずつ担当し、投票管理者の投票開始宣言で実際と同じ質の投票用紙・記載台・投票箱を使って投票を体験します。管理者の投票終了宣言後投票箱に鍵をかけるのを実際にやってもらいました。その後開票管理者の開票宣言で開票の作業の体験をしました。



最後に 明るい選挙推進委員の小島さんから「ルールは正しいとは限りません。変わっていくこともあります。時代に合わせて何が正しいのかよく見極めていくことが大切です」というお話がありました。

**選挙は自分の意見を反映させる貴重な機会！
長い歴史の中でやっと獲得した権利を大切にしよう！**

6年後、18歳になったら選挙に行きましょう！

